

2025 登山講習の報告

千葉県連教育遭難対策委員会

6月1日、栃木県『古賀志山』の『中尾根コース』にて登山講習を行いました。

参加者は、下記6会で計14名でした（教遭委員4名を含む）。

東葛山の会、岳人あびこ、かがりび山の会、千葉こまくさハイキングクラブ、船橋勤労者山の会、ちば山の会

夏の本格登山に向け岩場の歩き方を訓練しました。

岩場歩きの基本である、次のテーマを指導しました。

『三点支持』、『体を岩から離し、手がかりと足場を見通す』、『クサリ場（鎖場）の登り方』、下りでは傾斜により前向き、後ろ向き、横向きを使い分ける。

中尾根コースは、最初の3番岩と最後の中尾根コース最高地点には垂直の岩場があり、途中は岩場のアップダウンが繰り返しあり、低山ですがよい訓練コースです。

登山口までの道を間違え危険個所に遭遇し、ロープを張ったトラバースを実地で行うというアクシデントもありました。

下山後は、広場でツエルト設営の訓練を行いました。

日頃の山行で携帯している装備だけで、ツエルトを設営しました。

『ツエルトを被るだけ』、『ツエルトに付随している張り綱を立木に結び設営』、『張り綱+ストックで設営』、『ロープ+カラビナ+スリングを使った設営』など、様々な形態があり、ロープワークを含め今後の参考になったようです。

実施後のアンケートでは、初心者から中堅までの意見や、県連活動全般の要望が寄せられました。

- ◆自分が参加している山行であまり経験のない本格的岩場を経験出来て、勉強になりました。
- ◆ツエルト設営では、様々な設営スタイルがあり、いろいろ実際に見ることができ勉強になりました。今後はツエルトをいつも携帯しようと思います。
- ◆山行リーダーとして、岩場の歩き方の指示を的確にできるよう勉強したいと思い、今回参加しました。
- ◆初心者なので、歩き方、トレッキングポールの使い方等、基本的な登山講習もあれば良いなと思いました。
- ◆単独の会ではなかなか取り組み出来ないことを、県連で取り組んで講習して頂けることは、県連加盟のメリットを共有できる機会として大切にしたいと思いました。
- ◆もっと他の会の方と交流する機会があると良いなと思います。運営の仕方など他の会のやり方が聞けるといいです。 など

